



新潟市立江南小学校

令和7年6月27日

# COMPASS

考える部便り No.9



ご感想・研修へのご意見  
お待ちしております。←

## 常態的・先行的な働き掛けを意図的・計画的に

生徒指導提要では、発達支持的生徒指導は、全ての児童生徒を対象として、常態的、先行的な生徒指導であると示されています。そして、「発達支持的生徒指導では、日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び、授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けが重要になります。」と述べられています。このような働き掛けは、全ての生徒指導の基盤であり、学習指導の基盤とも重なります。これらを踏まえて、次の2つを意識したいです。

- ① 日々の教師の働き掛けをしつつ、意図的に子どもたち同士の共感や賛同の輪を広げる。
- ② 子どもたち同士の共感や賛同の輪を広げることで、学習しやすい環境にする。



ハッピー・サンキュー・  
ナイス

では、この基盤をどのように築いていくのでしょうか。考える部では、クラス会議の「ハッピー・サンキュー・ナイス」を推奨しています。クラス会議を全部やると、45分間かかりますが、「ハッピー・サンキュー・ナイス」だと、5～10分程度です。上の写真は24日（火）6限の話題提供授業の様子です。朝のスタートや話し合い活動の前などに継続的に取り組むことで、学びやすい安心した環境になると考えます。本日の希望制研修は「クラス会議」です。授業公開と研修をセットにしています。ぜひ一緒に学びませんか。（文責：植田一宏）